

地盤改良工事で貢献 黄綬褒章の受章祝賀会

地下水位低下など地盤改良（長）の黄綬褒章受章記念祝賀会
工事で多くの貢献をしている会が23日、岩手県北上市のブ
高橋茂吉氏（アサヒテクノ社 ランニユー北上で開かれた。



演じられた『岩崎新田鬼剣舞』

政界、商工会、建設業界、関係団体など県内外から関係者約200人が出席し、栄誉を祝った。

冒頭、発起人を代表して山根隆行a&w技術士事務所代表が、高橋氏の足跡を紹介しながらスーパールウェルポイント工法の開発経緯を紹介するとともに、同工法を中核とする応用技術による現場の安全性向上や工期短縮などの実績、50件超に及ぶ特許取得な



発起人の山根氏

ど土木技術分野での功績をたたえた。高橋氏が「昨年の『現代の名工』受章に続き、褒章の栄に浴するのは（家族、仕事関係への）感謝以外の何物でもない」と謝辞を述べ、瀬古一郎中央開発会長、八重



謝辞を述べる高橋氏

樫浩文北上市長、西垣誠岡山大学名誉教授、和田恵日刊建設通信新聞社社長、高橋穂至岩手県議会議員が高橋氏の人的、幼少時のエピソード、独創的で画期的な特許技術の数々、プロ歌手として活動する異色の経歴などを紹介しながら受章を祝した。

祝宴に先立ち、アサヒテクノの地元保存会による無形民俗文化能『岩崎新田鬼剣舞』が演じられ、祝宴の後半には舞踊や歌謡ショーが行われ、出席者は大トリで高橋氏が歌手・亜乱土論（アラン・ドロン）として登場、オリジナル曲を披露するディナーショーを堪能した。

